

令和4年度第4回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

- 令和4年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿 P 1
- 【資料1】 令和4年度第3回伊勢志摩地域
高等学校活性化推進協議会(8/24)の概要 P 2
- 【資料2】 地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査（案）について . . . P 5
- 【資料3】 これまでの協議における意見や考え方の整理 P11
- 【資料4】 伊勢志摩地域の県立高校への通学状況について P13
- 【資料5】 令和10年度までの伊勢志摩地域の
県立高等学校（全日制）の総学級数について P17
- 【参考資料1】 伊勢志摩地域 中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減） P18
- 【参考資料2】 伊勢志摩地域の中学校卒業生数（予測）と県立高等学校募集定員 . . P19
- 【参考資料3】 伊勢志摩地域の高等学校等の学科・コースについて P20

令和4年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No	所属及び名前	本年度 出席委員
1	学識経験者 三重大学 大学院生物資源学研究科 教授 坂本 竜彦	○
2	地域有識者 亀谷内科胃腸科 院長 亀谷 章	○
3		○
4		○
5		○
6	市町教育委員会 教育長 伊勢市教育委員会 教育長 岡 俊晴	○
7		○
8		○
9		○
10		○
11	県立高等学校長代表 県立南伊勢高等学校 校長 角屋 貴久	○
12	小中学校長代表 伊勢市立港中学校 校長 清水 能人	○
13		—
14		○
15		—
16	小中学校PTA代表 伊勢市PTA連合会 代表 浦田 宗昭 (伊勢市立厚生中PTA)	○
17		○
18		○
19		○
20	高等学校PTA代表 南勢地区高等学校PTA連合会 代表 藤原 達郎 (県立水産高校PTA)	○
21	小中学校教職員代表 伊勢市立明倫小学校 教諭 坂口 直矢 (伊勢市 教員代表)	○
22		○
23		—
24	高等学校教職員代表 県立伊勢工業高等学校 教諭 三橋 哲夫 (県立高等学校 教員代表)	○

令和 4 年度第 3 回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会（8 / 2 4）の概要

1 日時 令和 4 年 8 月 2 4 日（水）19 時 00 分から 21 時 10 分まで

2 場所 伊勢庁舎 4 0 1 会議室

3 概要

15 年先をふまえた伊勢志摩地域の県立高校における学びと配置のあり方に関する基本的な考え方や、地域の中学生と保護者を対象としたアンケートに関する質問内容、実施方法等について協議しました。

<主な意見>

（この地域での高校再編にかかる大切な考え方について）

- これまで当協議会で協議してきた「変化の激しい時代を生き抜いていく力を育むこと」、「地域への愛着心を養うこと」、「キャリア教育の推進」、「課題解決学習の推進」などは、地域を担う人材育成やこれからの高校の活性化を考える際に、当地域では非常に大切な考え方である。
- 各地域の課題解決学習や地域の担い手育成は大切であるため、この地域全体を対象にした伊勢志摩学として深く学ぶことで、地域の高校において、これからの学びをより充実させることができる。
- 地域の高校において、より広い範囲である伊勢志摩地域で学習を展開していく場合には、これまで所在する市町内で地域密着型の学習が展開されてきたことをふまえ、しっかりしたビジョンを持つことが大切である。小中学校でも統廃合が進んで校区が広がる中、高校においても伊勢志摩地域を 1 つの地域としてとらえていくことが大切である。
- 地域の高校では、他県の高校と連携した探究型の学びの実践が生徒の自己肯定感の向上につながっており、さらなる学びの質の向上が期待できる。

（学科配置について）

- 高校に進学する中学生の進路選択にかかるニーズに応えるため、地域内での学びの選択肢をできる限り残す方向性が大切である。
- 統廃合を検討する際には、学びの選択肢の確保という視点を持ちながら、どの学科をどれくらい配置すべきか、という議論を進めていくことが大切である。
- 今後 IT 化、AI 化がさらに進み、仕事の内容や方法が変わる中、専門学科の学びについても、どのような内容の学習が必要かを整理していく必要がある。
- 伊勢志摩地域の産業の担い手を育てる専門学科の学びを確保する必要がある一方、大学等への進学ニーズに応えることのできる普通科も残す必要がある。

- 専門学科の高校に関する議論の際には、他地域の同一学科との統合は1つの選択肢ではあるが、それにより生徒が希望する進路を選択しにくくなることの影響などについて、引き続き慎重な議論が必要である。

(教員数と学校規模について)

- 各高校の校長は地域の学校の大切さを理解したうえで、高校の魅力化・活性化に取り組んでいるが、伊勢市以外の学校の募集定数に対する充足率がなかなか高まらない中、この地域における生徒の学びをどう保障していくのか考えていく必要がある。
- 学校内での学びの選択肢を増やすためには、ある程度の教員数や生徒数が必要である。
- 教員数は教職員定数に関する法律上、学級数を基準として配置されており、工業・商業などの専門学科では比較的余裕があるものの、普通科の小さな規模の学校は、生徒の学びや学校運営の点においても大変苦しいのが現状である。
- 1学級規模の高校では、常勤の教員が10名前後という中、非常勤講師による授業も行いながら生徒の学びの選択の幅を確保するとともに、地域の学びも含めた様々なカリキュラム・科目に対応しているが、化学の教員が専門外の生物の授業を担当するといった現状もある。

(この地域の通学の状況について)

- 15年先の地域の状況を考えると、高校の統合は避けられない。その場合、遠くから通学することとなる生徒に対し、スクールバスの検討など、運用面・資金面も含めた具体的な支援を検討することが必要である。
- 仮に普通科の高校が伊勢市内の学校だけとなった場合、志摩市内からは通学に往復4時間必要な生徒も生まれ、かなりの負担となる。保護者の立場としては、地域に普通科の選択肢を維持してもらいたい。
- 以前に比べれば交通網がかなり整備されたというものの、伊勢志摩地域は広いため、通学に関する問題については継続して考えていく必要がある。
- 通学に時間がかかる地域については、スクールバスだけでなく、伊勢市周辺に費用負担の少ない高校生用の寮を準備するなど、生徒や保護者の負担を減らすことができる方法があるのではないかと。
- 同じ小学校でも40分歩いて通学する児童もいれば、5分で通学できる児童もいる。遠方から時間をかけて通学することは生徒や保護者の負担も大きくなると思うが、ある程度、通学状況に差が出るのは避けられないのではないかと。

(中学生・保護者を対象としたアンケートについて)

- この地域では、鳥羽・志摩から伊勢への通学、伊勢から鳥羽への通学はよくあるが、伊勢から志摩への通学は非常に少ない。このような生徒の動きを考えると学校の配置については、委員の意見とともに、このアンケート調査による中学生・保護者のニーズや思いを協議会として大切にしていきたい。
- 中学生向けのアンケートについては、生徒が選択しやすく、わかりやすい表現にするなど工夫するほうがよい。
- 令和2年度に三重県内の県立高校生全員を対象に実施したアンケートの設問や回答項目も参考にしてよいのではないか。
- 教員の配置（教員定数）や学校の規模が保護者にもイメージできるような資料を添付してもらいたい。
- 学校の統合にかかる生徒や保護者へのアンケートでは、学校規模等の考え方に先入観を与える表現がないよう配慮する必要がある。

(その他)

- 学校現場で各高校の学校長が考えていることも本協議会の参考にしたいため、今後は積極的に意見を聞く機会も設けていきたい。
- 今後、地域の私立高校の募集定員が現状より大きく減らない場合には、15年先の県立高校の総学級数は18～21学級ではなく、さらに少ない15学級程度になるとも考えられるのではないか。

地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査（案）について

- 調査主体：伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会
- 調査形態
中学生：一人一台パソコンのＣＢＴシステム利用による生徒アンケート
保護者：市町教委、中学校、生徒を通じて保護者への紙媒体でのアンケート
- 調査対象者
中学生：伊勢志摩地域の中学２年生全員 約１７００人
（伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会町・南伊勢町・玉城町・大紀町）
保護者：同上の保護者
- 調査期間：１０月下旬～１１月上旬頃

伊勢志摩地域の県立高校に関するアンケート（案）

保護者用

伊勢志摩地域の中学校2年生の保護者のみなさんへ

令和4年10月 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

本協議会では、当地域の県立高校の活性化について協議しており、その中で進学を控える生徒・保護者の方の意見を参考に協議を進めたいと考えています。つきましては、以下の資料を参照のうえ、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（当地域の中学2年生を対象に、別途、アンケートを実施しています。）

【資料】

○グローバル化やデジタル化などの社会の大きな変化、少子・高齢化のさらなる進行、教育的ニーズの多様化が進む中、令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」では、これからの子どもたちにとって魅力ある県立高等学校のあり方や活性化について検討し、実現していくこととしています。

○その中で、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求められる学びを提供していくには、現在の県立高校の配置を続けていくことは難しい状況であるため、各地域の活性化協議会において、高等学校の学びと配置のあり方についての検討を丁寧に進めるとしており、伊勢志摩地域においては、本協議会で検討を進めています。

○令和4年度の伊勢志摩地域の全日制県立高校1年生の総学級数（定員）は、9校10校舎で32学級1,280人となっています。

- ・宇治山田（5学級200人）
- ・伊勢（7学級280人）
- ・伊勢工業（4学級160人）
- ・宇治山田商業（4学級160人）
- ・明野（4学級160人）
- ・南伊勢南勢校舎、度会校舎（2学級80人）
- ・鳥羽（2学級80人）
- ・志摩（2学級80人）
- ・水産（2学級80人）

○令和5年度から19年度までの中学校卒業生数の予測や地域での出生数をもとに、進路状況や他地域との流出入などを考慮して学級数を予測すると、現在の32学級から15年先の令和19年度にはおよそ18～21学級と11～14学級減少することが見込まれます。

	令和4年3月	令和10年3月	令和19年3月
中学校卒業生数	1,879人	1,572人	1,199人
総学級数	32学級	24～25学級	18～21学級

※中学校卒業生数：令和10年は予測値、令和19年は地域の出生数

（参考）今年度、これまでの協議会の概要や配付資料については、下記のHPをご覧ください。

第1回協議会（6/8）

第2回協議会（7/5）

第3回協議会（8/24）



（資料）
・入学定員と欠員数の推移
・市町別の中学生進学先の推移
・今後の中学校卒業者の予測と推移
・高校生へのアンケート結果 など



（資料）
・学科別募集定員の割合
・地域の各県立高等学校について など



（資料）
・これまでの県立高校の統合
・学級規模による教育環境の比較
・令和10年度までの地域の総学級数 など

<https://www.pref.mie.lg.jp/SINGI/m0044800070.htm>

<https://www.pref.mie.lg.jp/SINGI/m0044800071.htm>

<https://www.pref.mie.lg.jp/SINGI/m0044800072.htm>

伊勢志摩地域の県立高校に関するアンケート（案）

< 質 問 > あてはまる選択肢の番号に○を付けてください。

（現在の居住地はどこですか。）

- ① 伊勢市 ② 鳥羽市 ③ 志摩市 ④ 度会町 ⑤ 南伊勢町 ⑥ 玉城町 ⑦ 大紀町

1 お子さんが高校を選ぶとき、重視することは何ですか。2つ以内で選んでください。

- ① 大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる
② 就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる
③ 進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる
④ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
⑤ 入りたい部活動がある
⑥ 多くの友だちや先生と出会うことが期待できる
⑦ 一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる
⑧ 通学しやすい
⑨ その他（ ）

2 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。2つ以内で選んでください。

- ① 主体的に学び続ける力を育む教育
② 進路選択の力を育む教育
③ 地域と協働しながら課題解決力を育む教育
④ 人権意識を高める教育
⑤ 学び直しや基本的な知識の習得ができる教育
⑥ ICTを積極的に活用した教育
⑦ グローバル社会で活躍できる力を育む教育
⑧ 社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育
⑨ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感を身につけることができる教育
⑩ その他（ ）

裏に続きます

3 伊勢志摩地域で 18～21 学級規模と見込まれる 15 年先の県立高校について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。次の①～③から 1 つ選んでください。

- ① 地域の高校のほとんどが小規模の高校になっても、統合は避けるべき
- ② 地域に大規模の高校、中規模の高校を配置するために、一定の統合は避けられない
- ③ 地域に大規模の高校、中規模の高校をできる限り配置するために、必要な統合を進めるべき

3-2 ①～③を選んだ理由を記入してください。

4 お子さんが進学したい高校までの通学時間は、どれくらいまでなら可能であると思いますか。次から 1 つ選んでください。

- ① 30 分以内 ② 31～60 分 ③ 61～90 分
- ④ 91～120 分 ⑤ 121 分以上

5 将来（中学・高校・大学等の学校を卒業後）、お子さんはどこで生活してほしいと考えていますか。次から 1 つ選んでください。

- ① 地元（現在住んでいる市町） ② 地元以外の伊勢志摩地域 ③ 伊勢志摩地域以外の三重県内
- ④ 県外 ⑤ 海外 ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい ⑦ 本人の希望次第
- ⑧ 特に考えはない

6 今後の伊勢志摩地域の県立高校の学びと配置のあり方について、ご意見があればお聞かせください。

当アンケートにかかるご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

（事務担当） 三重県教育委員会事務局 教育政策課 059-224-2951（平日 9:00～17:00）

ご協力ありがとうございました。

高校や将来に関するアンケート（案）

伊勢志摩地域の中学2年生のみなさんへ

令和4年10月 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

1 あなたは、どこに住んでいますか。次から1つ選んでください。

- ① 伊勢市 ② 鳥羽市 ③ 志摩市 ④ 度会町 ⑤ 南伊勢町 ⑥ 玉城町 ⑦ 大紀町

2 あなたの学校の2年生は何人ですか。次から1つ選んでください。

- ① 20人以下 ② 21～40人 ③ 41～80人 ④ 81～120人
⑤ 121～160人 ⑥ 161人以上

3 あなたが高校を選ぶとき、重視することは何ですか。2つ以内で選んでください。

- ① 大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる
② 就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる
③ 進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる
④ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
⑤ 入りたい部活動がある
⑥ 多くの友だちや先生と出会うことが期待できる
⑦ 一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる
⑧ 通学しやすい
⑨ その他（3-2の自由記述へ）

3-2 3で「⑨その他」を選んだ人は、重視する内容を書いてください。

4 あなたが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。2つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育 ② 自分の将来を選択する力が身につく教育
③ 地域について学ぶ教育 ④ 人権に対する意識が高まる教育
⑤ 基本的な知識が身につく教育 ⑥ ICTを積極的に活用する教育
⑦ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
⑧ 社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育
⑨ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
⑩ その他（4-2の自由記述へ）

4-2 4で「⑩その他」を選んだ人は、期待する内容を書いてください。

5 高校の学級は40人1学級を基本としています。あなたが進学するとしたら、1学年あたりどのくらいの学級数(人数)の高校に入学したいですか。次から1つ選んでください。

- ① 1学級～2学級(～80人)
- ② 3学級～4学級(81～160人)
- ③ 5学級～6学級(161～240人)
- ④ 7学級以上(241人～)

5-2 5の学級数を選んだ理由で最もあてはまるものを、次から1つ選んでください。

- ① 友だちや先輩、先生など、多くの出会いがあると思うから
- ② 学習や部活動等で自分の興味・関心にもとづく多様な選択ができると思うから
- ③ 友だちや先輩、先生との関係が深まりやすいと思うから
- ④ 学習や生活面で一人ひとりが先生にサポートしてもらいやすいと思うから
- ⑤ その他(5-3の自由記述へ)

5-3 5-2で「⑤その他」を選んだ人は、その理由を書いてください。

6 あなたは、進学したい高校までの通学時間は、どれくらいまでなら可能であると思いますか。次から1つ選んでください。

- ① 30分以内
- ② 31～60分
- ③ 61～90分
- ④ 91～120分
- ⑤ 121分以上

7 小中学校では、自分が住んでいる市町の自然・文化・産業などについて学習してきました。高校進学後の地域の学習について、どのように取り組みたいと思いますか。最も当てはまるものを次から1つ選んでください。

- ① 進学した高校が所在する市町について学んでみたい
- ② 進学した高校が所在する市町だけでなく、伊勢志摩地域全体のことについて学んでみたい
- ③ 高校では地域の学習よりも、別の分野について学んでみたい
- ④ その他(7-2の自由記述へ)

7-2 7で「④その他」を選んだ人は、どのように取り組みたいか書いてください。

8 将来(中学・高校・大学等の学校を卒業後)、あなたはどこで生活したり、働いたりしたいですか。次から1つ選んでください。

- ① 地元(現在住んでいる市町)
- ② 地元以外の伊勢志摩地域
- ③ 伊勢志摩地域以外の三重県内
- ④ 県外
- ⑤ 海外
- ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻りたい
- ⑦ まだ決まっていない、わからない

これまでの協議における意見や考え方の整理

当協議会における令和2～3年度の議論と今年度3回の意見に加え、今後も協議を重ねながら、少子化がさらに進行していく15年先を見すえた当地域の高等学校の学びと配置のあり方について整理し、まとめていきます。

1. これからの伊勢志摩地域の高校生に必要な力や学びについて

- ・変化の激しい時代を生き抜いていく力を育むことが大切
- ・働く意義の自覚や人間性の育成のためにも、キャリア教育を推進することが大切
- ・知識や技能の修得だけでなく、自ら課題を発見し、その課題を解決していく能力を育成することが大切
- ・地域への愛着心を養うことが大切
- ・将来、地域の担い手となる人材や、地域に戻って活躍するような人材の育成が大切

2. 今後の生徒減における地域の高校の学びと配置のあり方を協議するにあたり、大切にすべきことや配慮すべきことについて

「これまで培ってきた地域と連携した学びの継続」

- ・地域の担い手育成の視点からも、小中学校で行われている「ふるさと教育」等が大切
- ・高校においても、小規模校で進めてきた地域を学びの場とする地域課題に取り組むことが大切
- ・これからは伊勢志摩地域を一つの地域としてとらえる「伊勢志摩学」として特色ある地域の教育と位置付け、地域すべての高校において進めることが大切
- ・ICTも活用しながら、通信制課程で地域の学びを保障していくなどの視点も大切

「ICTを活用した学習」

- ・高等教育機関や専門家等とつなぐことは専門的な知識の伝達や交流活動に効果的
- ・一方、協働的な学びや、学校行事・部活動などにおいて、対面ほどの効果を得ることは困難
- ・今後もこの地域で有効に活用できるよう、柔軟に研究や実践を続けていくことが大切

「生徒の通学状況への配慮」

- ・以前に比べれば交通網は整備されたものの、伊勢志摩地域は広いため、通学に関する問題については継続して考えていくことが必要
- ・高校の統合を進める場合、遠くから通学することとなる生徒に対し、スクールバスの検討など、運用面・資金面も含めた具体的な支援を検討することが必要

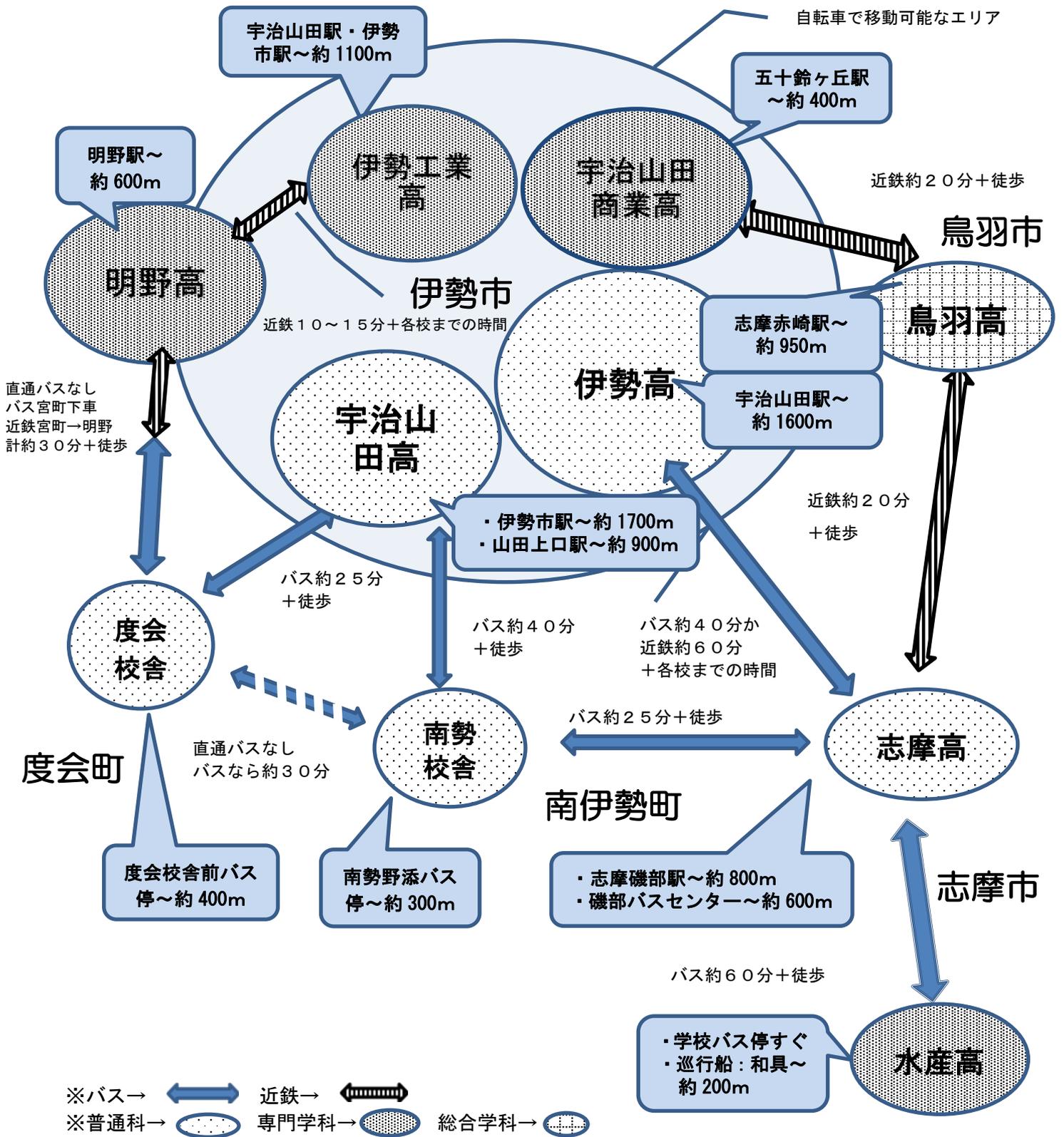
3. 今後の生徒減に対応した地域の普通科や専門学科等の学びの考え方について

- ・ 高校に進学する中学生の進路選択にかかるニーズに応えるため、学びの選択肢を地域の中で、できる限り確保することが大切
- ・ 普通科・専門学科・総合学科のバランスの取れた配置が大切
- ・ 生徒や保護者の大学進学へのニーズに対応するため、地域の中に一定の規模の県立高校の普通科を維持することが必要
- ・ 地域の担い手を育む学びの選択肢を確保するため、多様な専門学科の学びはできる限り維持することが大切

4. 今後の生徒減に対応した県立高等学校の規模と配置の考え方について

- ・ 今後の伊勢志摩地域の中学校卒業生数の減少をふまえると、現在のままの県立高校の配置を続けていくことは困難
- ・ 地域の小規模校がこれまで果たしてきた役割や、丁寧な指導などの教育内容を大切にしながらも、学校個別ではなく、地域全体で高校の学びを考えて統合を協議していくことが必要
- ・ 単に志願者や入学者等の数によって、高校の統廃合を検討するのではなく、伊勢志摩地域で通える範囲に高校が配置され、地域で多様な人材を育てることが大切
- ・ 専門学科同士の統合も含め、今後もその配置のあり方について継続的な検討が必要
- ・ 高校時代に多くの人との出会いの中で学び合うことは、生徒の社会性や人間性の育成にとって大切
- ・ 様々な生徒の学びのニーズに応えられるよう、一定の規模を維持しながら、高校をより魅力化することが大切
- ・ 学校内での学びの選択肢を増やすためには、一定の学級規模が必要
- ・ 長時間の通学は負担となるため、できるかぎり地域に普通科を維持することも大切

伊勢志摩地域の県立高校への通学状況について



1 【志摩市方面スクール（三重交通）】

R4.6 現在

（往路）

（主なバス停を表記）

○志摩1号（山商・伊勢学園・伊勢・英心・明野・宇治山田 行）

大王支所前（6:43）→鵜方駅（7:06）→磯部バスセンター（7:16）→山商口（7:58）→伊勢学園前（7:59）
→伊勢警察前（8:00）→岩淵（8:03）→山高（8:16）

○志摩2号（皇学館・伊勢工業 行）

越賀集会所前（6:31）→布施田（6:41）→志摩市民病院（6:53）→磯部バスセンター（7:27）
→山商口（8:09）→伊勢工業高（8:16）

○志摩3号（伊勢学園・英心・明野・宇治山田 行）

御座港（6:26）→布施田（6:44）→志摩市民病院（6:56）→山商口（8:07）→岩淵（8:12）→山高（8:25）
※岩淵：伊勢市駅（8:17）→明野駅（8:24）→明野高校（8:40 始業）

○志摩4号（山商・伊勢高 行）

越賀集会所前（6:42）→布施田（6:52）→志摩市民病院（7:04）→山商口（8:15）→伊勢警察前（8:17）

○志摩高校スクール（登校のみ）

御座港（7:00）→和具（7:12）→片田（7:22）→波切（7:35）→市役所前（7:54）→志摩高校（8:17）

（復路）

○志摩1号

宇治山田高（16:00）→岩淵（16:04）→伊勢工業高（16:07）→山商口（16:16）→伊勢学園前（16:17）
→伊勢警察前（16:18）→徴古館前（16:20）→磯部バスセンター（16:54）→鵜方駅（17:08）→大王
公民館前（17:22）→志摩市民病院前（17:33）→布施田（17:45）→和具（17:50）→越賀（17:54）
→御座港（18:03）

○志摩2号（志摩1号より1時間後のダイヤ）：宇治山田高（17:00）→ → →御座港（19:03）

○志摩3号（志摩2号より1時間後のダイヤ）：宇治山田高（18:00）→ → →御座港（20:03）

※路線バス：伊勢市駅（18:52）→御座港（20:56）

2 【南伊勢町（旧南勢町）方面スクール（三重交通）】

（往路）

○宿田曾・浜島スクール ※伊勢工業へは磯部BCで志摩2号へ

宿浦（6:37）→浜島中学校前（6:53）→磯部バスセンター（7:19）→→→山商口（8:01）→伊勢学園
前（8:02）→伊勢警察前（8:03）→岩淵（8:06）→宇治山田高（8:19）

○南勢スクール ※伊勢工業へは磯部BCで志摩2号へ

礪浦（6:25）→五ヶ所（7:07）→磯部バスセンター（7:26）→→→山商口（8:08）→伊勢学園前（8:09）
→伊勢警察前（8:10）→岩淵（8:13）→宇治山田高（8:26）

（復路）

○宿田曾・浜島スクール

宇治山田高（16:15）→岩淵（16:19）→伊勢工高前（16:22）→山商口（16:31）→伊勢学園前（16:32）
→伊勢警察前（16:33）→皇学館大学前（16:34）→→→磯部バスセンター（17:10）→鵜方駅前（17:24）
→浜島中学校前（17:39）→宿浦（17:53） ※路線バス：伊勢市駅（19:15）→宿浦（20:52）

○南勢スクール

宇治山田高（16:10）→岩淵（16:14）→伊勢工高前（16:17）→山商口（16:26）→伊勢学園前（16:27）
→伊勢警察前（16:28）→皇学館大学前（16:29）→→→神津佐（17:15）→五ヶ所（17:22）→迫間浦
（16:44）→南海体育館前（17:58）

※路線バス：伊勢市駅（19:13）→五ヶ所（19:59）

3 【南伊勢町(旧南島町)方面バス(町営バス+三重交通)】

(往路)

- 古和(6:19)→東宮(6:43)→南島道方(6:57)→中村(7:07)→伊勢市駅前(7:48)→伊勢病院前(8:08)
阿曾浦(6:44)→南島道方(6:52)   山商前經由伊勢病院前(8:16)
- 古和(6:44)→東宮(7:04)→南島道方(7:20)→伊勢市駅(8:20)
阿曾浦(7:08)→南島道方(7:16) 
- 南島棚橋(6:58)→古和(7:02)→東宮(7:21)→南島道方(7:37)→**国道野添**(8:11)…南勢校舎
- 神前(5:45)→古和(6:00)→JR伊勢柏崎駅前(6:24)
※JR伊勢柏崎駅(6:39)→相可駅(7:24)→徳和駅(7:41)→松阪駅(7:50)→JR津駅(8:16)

(復路)

- 伊勢市駅前(19:05)→中村(19:55)→南島道方(20:05)→東宮(20:33)→古和(20:59)※最終
- 南勢校舎…**国道野添**(18:47)→南島道方(19:22)→東宮(19:41)→古和(20:02)※最終
- JR伊勢柏崎駅(20:35)→古和(20:59)→神前(21:14)※最終
※JR津駅(18:33)→松阪駅(18:48)→徳和駅(19:02)→相可駅(19:37)→JR伊勢柏崎駅(20:29)

4 【鉄道等】

- 近鉄 (…連絡乗換)

・松阪方面から伊勢志摩方面へ

- (急行)津駅(6:29)→松阪駅(6:53)→伊勢市駅(7:08)→鳥羽駅(7:26)…**志摩赤崎駅**(7:32)
→**志摩磯部駅**(7:53)→鵜方駅(8:00)
- (普通)松阪駅(7:04)→斎宮駅(7:15)→**明野駅**(7:21)→**伊勢市駅**(7:29)→鳥羽駅(7:47)→
志摩赤崎駅(7:58)→**志摩磯部駅**(8:19)→賢島駅(8:32)
- (急行)津駅(7:12)→松阪駅(7:35)→**伊勢市駅**(7:51)→鳥羽駅(8:08)… →**志摩赤崎駅**(8:25)
- (普通)松阪駅(7:42)→斎宮駅(7:53)→**明野駅**(8:00)→**伊勢市駅**(8:07)→**五十鈴川駅**(8:12)

・志摩方面から伊勢方面へ

- (普通)賢島駅(6:40)→**志摩磯部駅**(6:52)→鳥羽駅(7:20)→**伊勢市駅**(7:39)→**明野駅**(7:46)
- (普通)賢島駅(7:03)→**志摩磯部駅**(7:16)→**志摩赤崎駅**(7:38)→鳥羽駅(7:44)
…**伊勢市駅**(8:17)→**明野駅**(8:24)
- (普通)賢島駅(7:31)→**志摩磯部駅**(7:43)→**志摩赤崎駅**(8:05)→鳥羽駅(8:11)

- JR

- 多気(7:01)→田丸(7:09)→**伊勢市駅**(7:22)→**五十鈴ヶ丘駅**(7:28)→鳥羽駅(7:44)
- 多気(7:41)→田丸(7:50)→**伊勢市駅**(8:03)

○鳥羽市営定期船

※佐田浜港～鳥羽駅 約500m

(往路)

答志 (6:55) → 佐田浜 (7:25)
 桃取 (6:48) → 佐田浜 (7:00)
 (7:20) → 佐田浜 (7:34)
 菅島 (6:55) → 佐田浜 (7:12)
 神島 (7:00) → 佐田浜 (7:30)

(最終便)

佐田浜 (18:45) → 答志 (19:11)
 佐田浜 (20:10) → 桃取 (20:22)
 佐田浜 (20:10) → 菅島 (20:34)
 佐田浜 (17:40) 冬 17:10 → 神島 (18:10) 冬 17:40

5【交通費】

○三重交通

- ・伊勢市駅前～山商前 年間¥ 44,000 (通学1カ月¥ 5,500)
 - ・伊勢市駅前～南伊勢高校度会校舎前 年間¥ 120,000 (通学1カ月¥ 15,000)
 - ・通学フリー 年間¥ 156,000 (通学1カ月¥ 19,500)
- ※通学フリー定期券：1カ月¥ 19,500、3カ月¥ 55,500、1学期または2学期¥ 58,500、3学期¥ 39,000、年間¥ 156,000 で全線乗り放題

○鉄道 (例)

- (近鉄) 賢島駅～伊勢市駅年間 ¥ 64,700 (通学6カ月¥ 32,350)
- (JR) 田丸駅～伊勢市駅年間 ¥ 45,740 (通学6カ月¥ 22,870)

【参考】

地域別県立高等学校(全日制)への通学所要時間(片道:1～3年)

令和4年5月1日現在

学校名・地域名	15分以内	30分以内	45分以内	60分以内	90分以内	120分以内	120分以上	合計(人)
桑名・四日市地域(16校)	1,286 11.1%	3,233 27.9%	2,877 24.9%	2,670 23.1%	1,289 11.1%	194 1.7%	24 0.2%	11,573
鈴鹿・津地域(14校)	1,096 11.7%	2,485 26.6%	2,246 24.1%	2,224 23.8%	1,078 11.5%	177 1.9%	32 0.3%	9,338
松阪地域(6校)	575 19.8%	755 26.0%	643 22.2%	568 19.6%	284 9.8%	65 2.2%	12 0.4%	2,902
伊勢志摩地域(9校10校舎)	476 13.5%	1,037 29.5%	722 20.5%	620 17.6%	528 15.0%	107 3.0%	27 0.8%	3,517
伊賀地域(5校)	603 19.8%	956 31.4%	513 16.8%	580 19.0%	318 10.4%	65 2.1%	14 0.5%	3,049
東紀州地域(3校)	273 24.3%	333 29.6%	282 25.1%	176 15.7%	54 4.8%	5 0.4%	1 0.1%	1,124
合計	4,309 13.7%	8,799 27.9%	7,283 23.1%	6,838 21.7%	3,551 11.3%	613 1.9%	110 0.3%	31,503

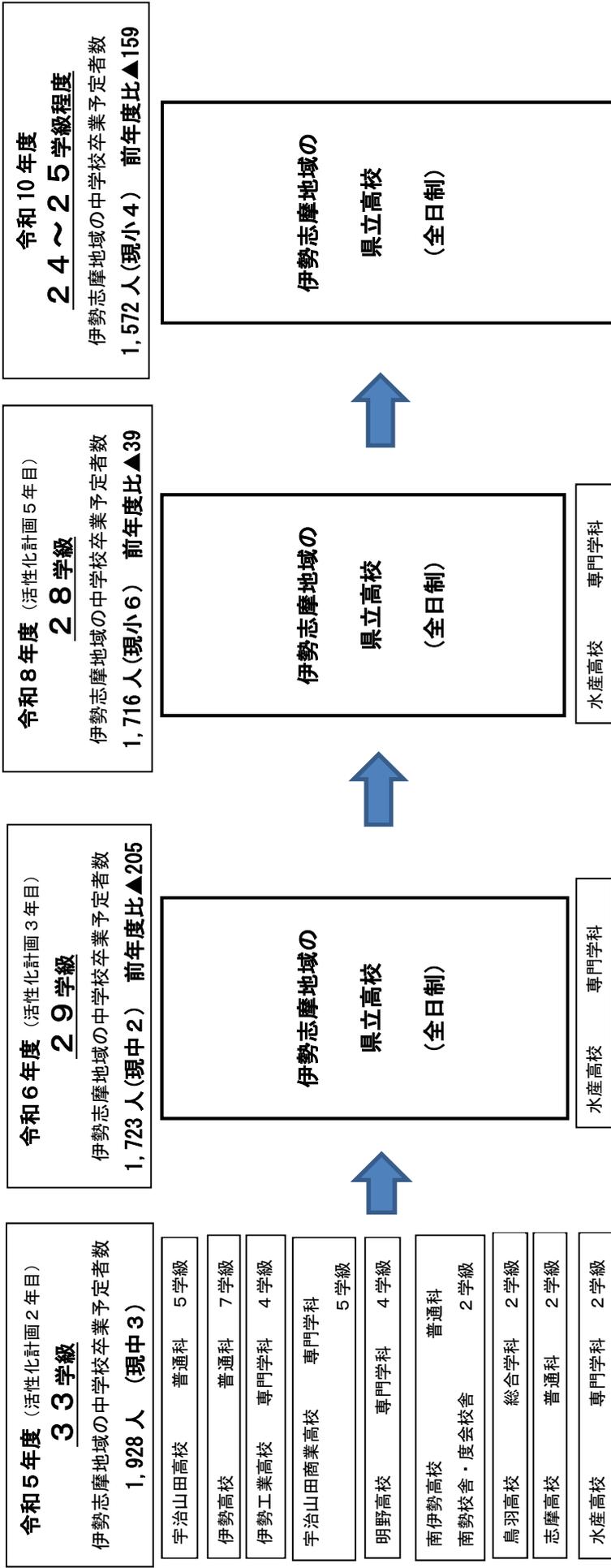
※伊勢志摩地域の通学時間120分以上の生徒：水産13、伊勢5、山高4他

○伊勢志摩地域の高校等の始業時間

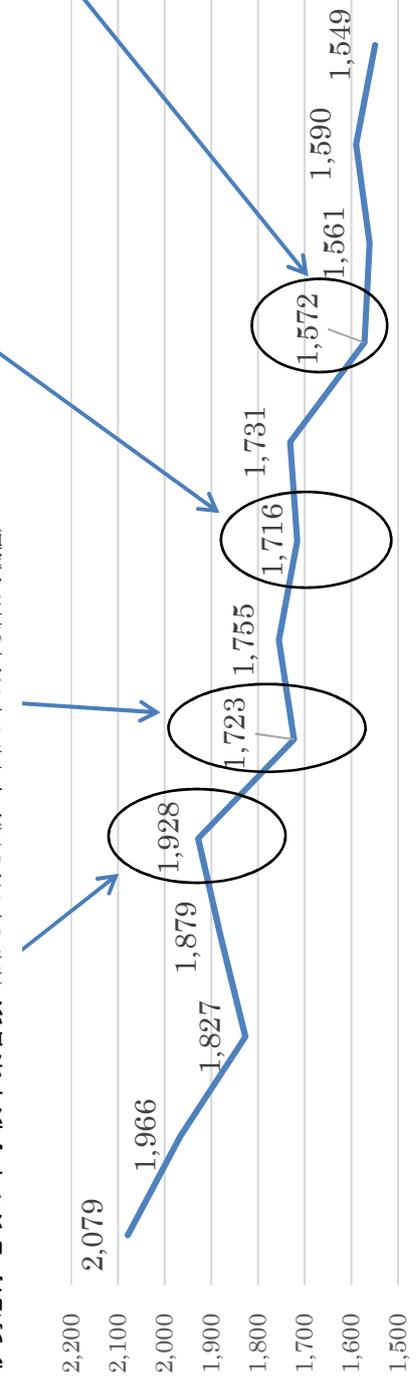
- ・宇治山田高 (8:40)
- ・伊勢高 (8:35)
- ・伊勢工業高 (8:30)
- ・宇治山田商業高 (8:40)
- ・伊勢まなび高 (午前:8:50 午後:13:10 夜間:17:30)
- ・明野高 (8:40)
- ・南伊勢高 (南勢校舎、度会校舎ともに8:40)
- ・鳥羽高 (8:40)
- ・志摩高 (8:40)
- ・水産高 (8:50)

※・皇学館高 (8:35) ・伊勢学園高 (8:35) ・英心高全日型コース (9:00) ・鳥羽商船高専 (8:50)

令和10年度までの伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）の総学級数について



伊勢志摩地域の中学校卒業生数（令和4年5月1日調べ、令和5年3月卒以降は予測値）



学科の割合（令和5年度）	
普通科	48.5%
専門学科	45.5%
総合学科	6.1%

※伊勢志摩地域における県立高校と私立高校の募集定員の比率、中学校卒業者が市町を越えて高校進学する比率が、現在と大きく変わらない場合の予測に基づく。
 ※地域における募集定員の普通科・専門学科・総合学科の比率、伊勢市内の高校と鳥羽・志摩・度会地域の高校の比率が、現在と大きく変わらない場合の予測に基づく。
 ※中学校卒業予定者数は、令和4年5月1日時点の教育政策課による予測数値

伊勢志摩地域 中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）

令和4年5月1日 教育政策課調べ

参考資料1 (R4.第2回資料)

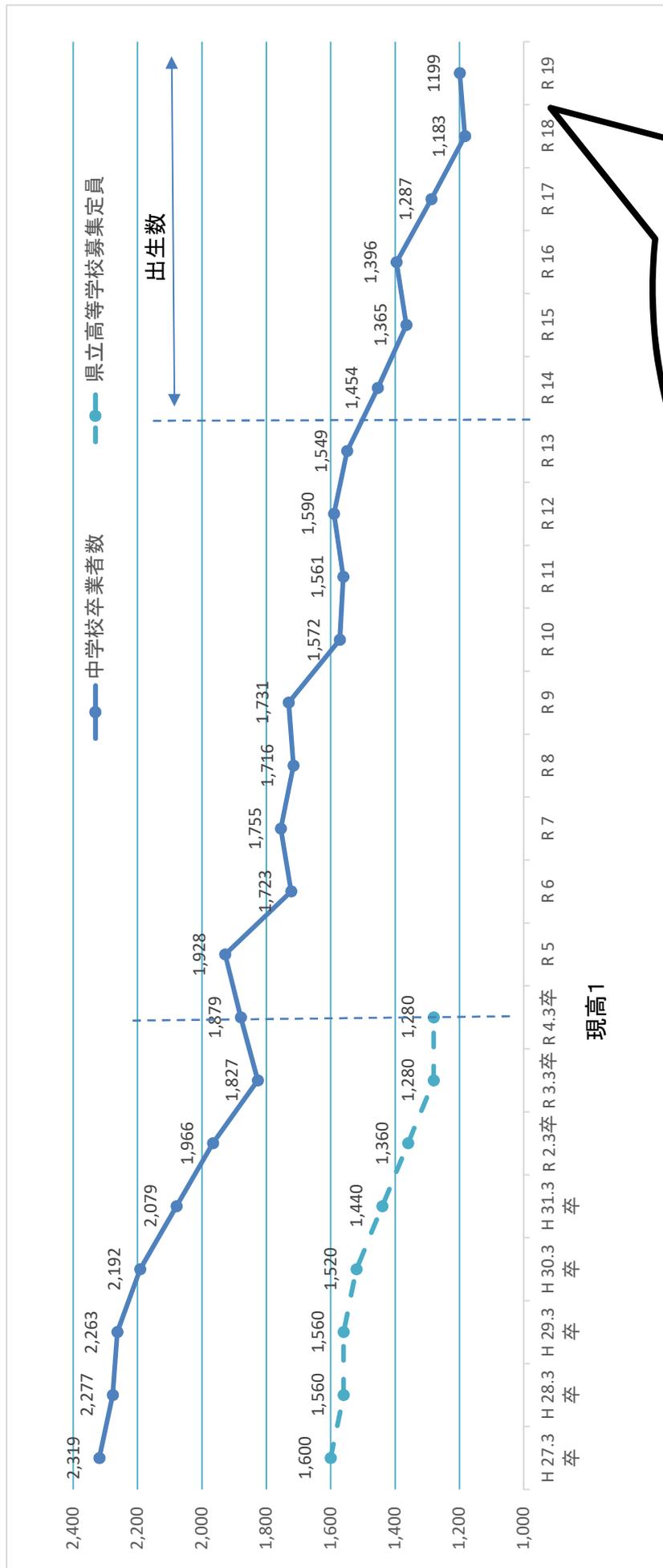
	H 15.3 卒業	H 31.3 卒業	R 2.3 卒業	R 3.3 卒業	R 4.3 卒業	R 5.3 現中3	R 6.3 現中2	R 7.3 現中1	R 8.3 現小6	R 9.3 現小5	R 10.3 現小4	R 11.3 現小3	R 12.3 現小2	R 13.3 現小1
伊勢市	卒業生数	1,170	1,087	1,057	1,082	1,127	972	1,030	999	1,030	975	900	955	912
	前年度対比		-83	-30	25	45	-155	58	-31	31	-55	-75	55	-43
	R4.3対比					45	-110	-52	-83	-52	-107	-182	-127	-170
度会郡	卒業生数	552	358	308	315	337	311	319	292	305	263	272	279	288
	前年度対比		-11	-50	7	22	-26	8	-27	13	-42	9	7	9
	R4.3対比					22	-4	4	-23	-10	-52	-43	-36	-27
鳥羽市	卒業生数	294	140	132	143	122	105	119	110	98	95	107	83	100
	前年度対比			-8	-6	-21	-17	14	-9	-12	-3	12	-24	17
	R4.3対比					-21	-38	-24	-33	-45	-48	-36	-60	-43
志摩市	卒業生数	653	400	389	339	342	335	287	315	298	239	282	273	249
	前年度対比			-11	26	3	-7	-48	28	-17	-59	43	-9	-24
	R4.3対比					3	-4	-52	-24	-41	-100	-57	-66	-90
小計	卒業生数	3,009	2,079	1,966	1,879	1,928	1,723	1,755	1,716	1,731	1,572	1,561	1,590	1,549
	前年度対比			-113	52	49	-205	32	-39	15	-159	-11	29	-41
	R4.3対比					49	-156	-124	-163	-148	-307	-318	-289	-330
県内合計	卒業生数	20,468	16,811	16,489	15,777	16,044	15,880	15,607	15,433	15,225	14,717	14,358	14,053	14,006
	前年度対比			-322	-712	-200	-164	-273	-174	-208	-508	-359	-305	-47
	R4.3対比					-200	-364	-637	-811	-1,019	-1,527	-1,886	-2,191	-2,238

伊勢市内高校 (県立全日)	学級数(募集)	26	26	24	24									
	欠員	2	15	3	0	-								
	学級数(募集)	10	8	8	8									
伊勢以外高校 (県立全日)	学級数(募集)	84	77	117	129									
	欠員													
	学級数(募集)	36	34	32	32									
伊勢地区高校 (県立全日)	学級数(募集)	86	92	120	129									
	欠員													
	学級数(募集)	293	285	271	274									
県内(県立全日)	学級数(募集)	192	339	325	324									
	欠員													
	学級数(募集)													
(私立、高専入学者の状況)														
皇學館	募集	320	320	315	315									
	入学者数	336	378	323	353									
	募集	220	220	220	230									
伊勢学園	募集	243	245	283	274									
	入学者数	120	120	120	120									
	募集	122	126	128	120									
鳥羽商船	募集	122	126	128	120									
	入学者数	122	126	128	120									
	募集	122	126	128	120									
3校の欠員数(合計)														
-41														
(参考)														
三重	募集	530	530	530	540									
	入学者数	591	624	548	584									
	募集	530	530	530	540									

※欠員の(-)は、定員を超過した入学者数を示す。

伊勢志摩地域の中学校卒業生数(予測)と県立高等学校募集定員

※R14年度以降は地域の出生数を記載



伊勢志摩地域の出生数

	H27年度出生	H28年度出生	H29年度出生	H30年度出生	R1年度出生	R2年度出生	R3年度出生
現小1	935	864	814	883	811	761	744
伊勢市	108	109	94	98	83	65	88
鳥羽市	258	240	227	209	205	177	167
志摩市	273	241	230	206	188	180	200
度会郡	1,574	1,454	1,365	1,396	1,287	1,183	1,199
合計							

令和19年度 (15年後)
伊勢志摩地域県立高等学校
募集定員総数の見込み
18~21学級規模

